

一般会計の歳入歳出の総額は、歳入 56 億 8,750 万円、歳出 55 億 9,889 万円となり、形式収支は 8,861 万円、翌年度に繰り越すべき財源 1,299 万円を差し引いた実質収支も 7,562 万円の黒字決算となりました。

平成 29 年度に比べ、歳入は 13 億 7,294 万円減、歳出は 14 億 461 万円減と歳入歳出ともに大きく減少しました。主な要因は、普通建設事業の減少によるもので、それに伴い財源となる町債も大きく減少しました。

財政健全化指標

指 標	平成 29 年度	平成 30 年度	早期健全化基準	財政再生基準	経営健全化基準
実質赤字比率	黒字のため生じない	黒字のため生じない	15.0%	20.0%	-
連結実質赤字比率	黒字のため生じない	黒字のため生じない	20.0%	30.0%	-
実質公債費比率	11.1%	11.8%	25.0%	35.0%	-
将来負担比率	89.0%	87.2%	350.0%	-	-
資金不足比率	黒字のため生じない	黒字のため生じない	-	-	20.0%

町債（公債費）残高

会計名	平成 29 年度	平成 30 年度
一般会計	112 億 9,419 万円	118 億 883 万円
浦郷診療所	1,203 万円	983 万円
簡易水道事業	7 億 2,476 万円	7 億 2,579 万円
下水道事業	13 億 395 万円	11 億 9,842 万円
合 計	133 億 3,493 万円	137 億 4,287 万円



基金残高

基金名	平成 29 年度	平成 30 年度
財政調整基金	9 億 3,178 万円	9 億 3,699 万円
減債基金	8 億 4,521 万円	8 億 6,581 万円
庁舎建設基金	4 億 7,255 万円	4 億 4,098 万円
国保関連基金	3,917 万円	4,580 万円
その他基金	7,796 万円	1 億 4,579 万円
合 計	23 億 6,667 万円	24 億 3,537 万円



今後の見通し

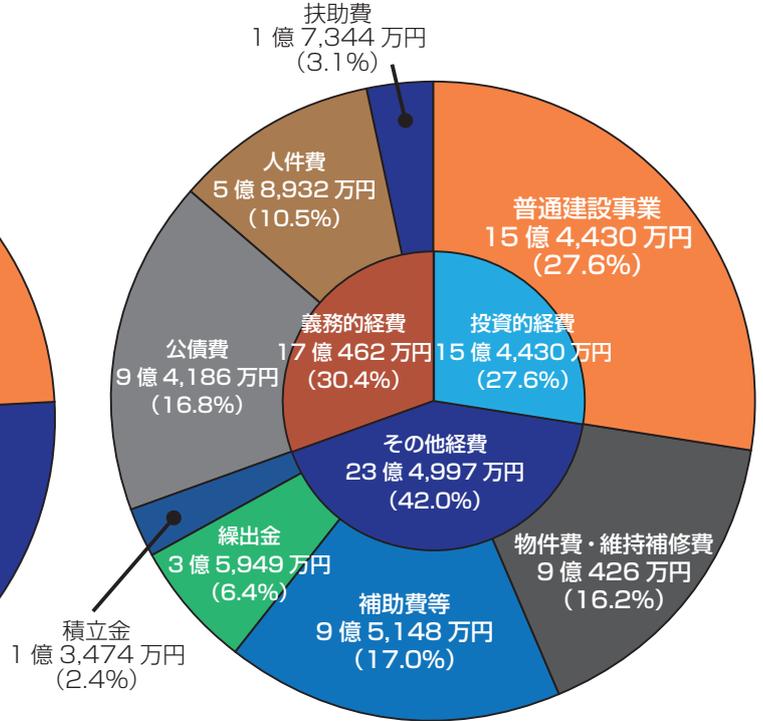
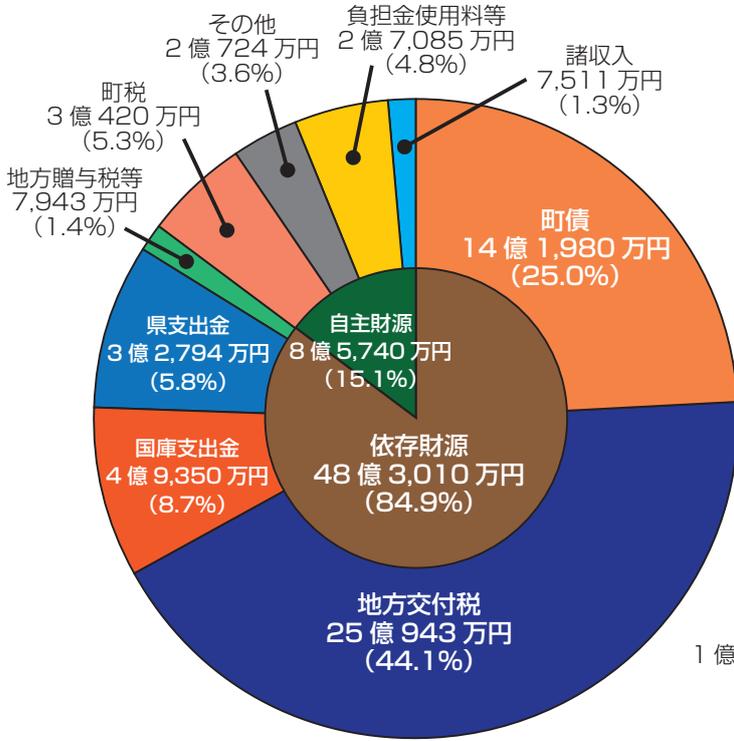
西ノ島町の財政は、これまで行ってきた行財政改革や歳出削減などにより、人件費などの義務的経費が抑えられていることや、国から交付される地方交付税が比較的堅調に推移していることから、健全な財政状況が続いています。

しかし、学校建設事業、ごみ処理施設整備事業など大型事業の元金償還が始まるため公債費の増加が顕著になっていきます。今後、庁舎建設事業の町債借入も予定しているため、財政状況は決して楽観視できませんが、交付税措置の有利な町債の借入などにより、引き続き健全な財政運営に取り組むとともに、総合戦略に掲げられた産業創出・人口減少対策などの重要施策の実現に取り組んでまいります。

決算報告

一般会計

歳入・歳出ともに大きく減少しました



一般会計歳入 56億8,750万円

一般会計歳出 55億9,889万円

用語解説

- 自主財源**…町が自主的に収入できる財源。町税や使用料等。
- 依存財源**…国や県から交付されるお金や借入金。
- 地方交付税**…地方公共団体の財政状況に応じて国から交付されるお金。
- 町債**…町の借金。
- 公債費**…町債の元利償還金等。
- 義務的経費**…支出が義務付けられ任意に削減できない経費。
- 投資的経費**…道路、橋りょう、公営住宅等の社会資本の整備等に要する経費。
- 扶助費**…法令に基づき支出する各種扶助費用。児童手当、生活扶助等。
- 繰出金**…他の会計に支出するお金。



特別会計

会計名	歳入	歳出		差引
		うち一般会計からの繰入金		
国民健康保険事業	4億9,864万円	3,796万円	4億9,569万円	295万円
後期高齢者医療保険事業	9,219万円	4,151万円	9,219万円	0万円
浦郷診療所	5,977万円	560万円	5,957万円	20万円
へき地三度出張診療所	1,306万円	672万円	1,286万円	20万円
簡易水道事業	2億1,707万円	3,162万円	2億1,679万円	28万円
下水道事業	2億3,742万円	1億6,408万円	2億3,658万円	84万円
合計	11億1,815万円	2億8,749万円	11億1,368万円	447万円